

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(小児科定点、インフルエンザ定点)

第 1 週 平成28年1月4日 ~ 平成28年1月10日

今週のコメント

今年第1週(1月4日~10日)の状況です。

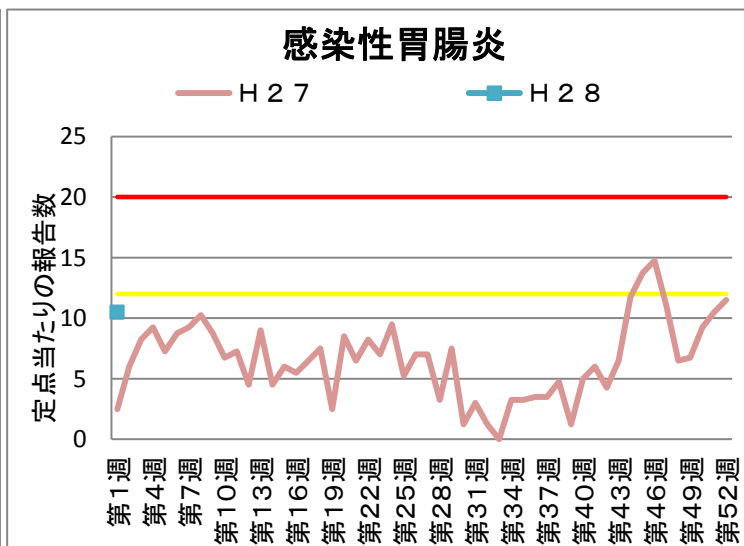
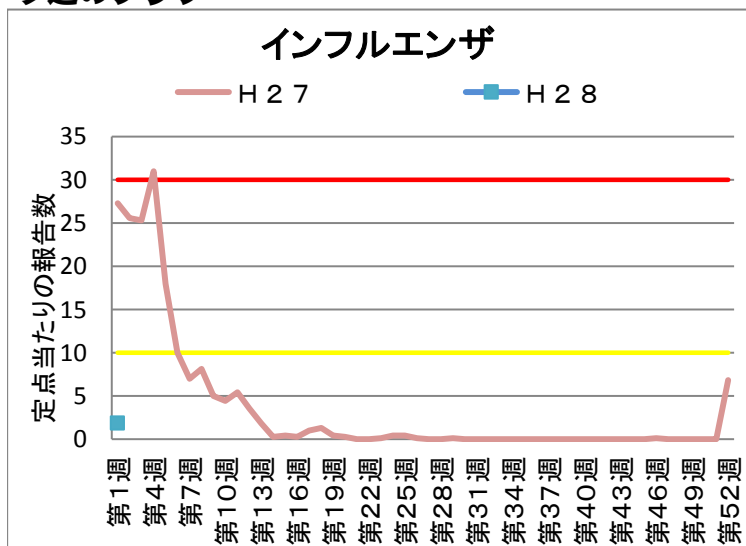
○ インフルエンザの報告は定点あたり1を越え1.86で流行期に入っています。年末の時点で国内のインフルエンザウイルス検出状況は、AH3亜型、AH1pdm09、B型の検出割合が同じくらいです。

○ 乙訓で最も報告が多いのは感染性胃腸炎、ついでインフルエンザ、水痘となっています。年明け以降も保育園サーベイランスでも水痘がみられています。水痘ワクチンは3歳になるまでに2回接種しておきましょう。

○ 年末12月に流行したRSウイルスにも、まだ注意が必要です。

○ 今月は寒い日が続くようです。帰宅時の手洗い・うがいを心がけ、咳症状がでた時はマスクをして周囲の人につまさないようにしましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警戒基準値です 黄線 警戒継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	1.86	手足口病	-
RSウイルス感染症	1	伝染性紅斑	1
咽頭結膜熱	0.5	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	百日咳	-
感染性胃腸炎	10.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	1.25	流行性耳下腺炎	0.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

警戒・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

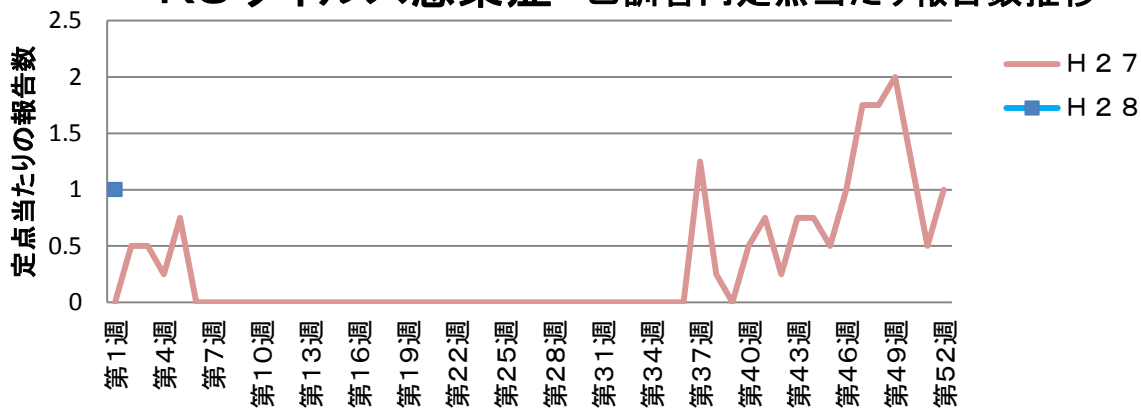
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

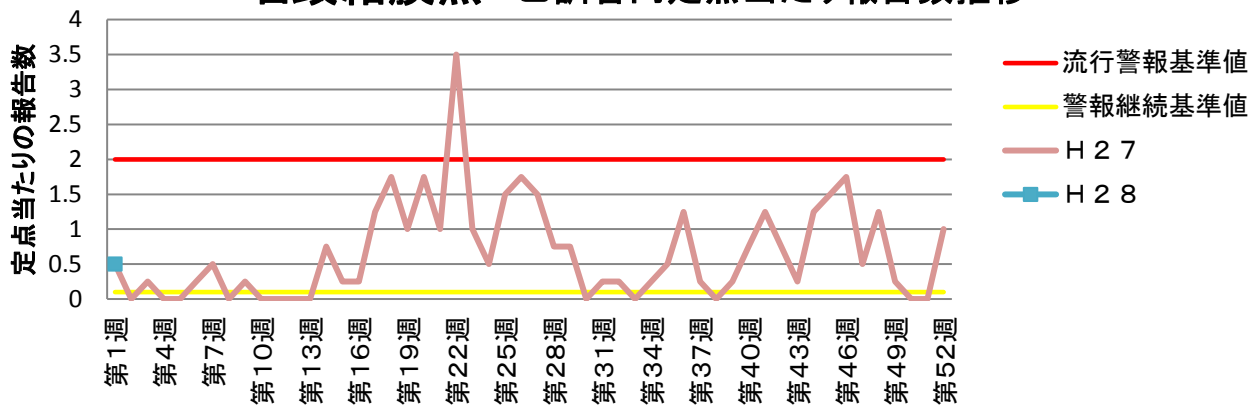
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



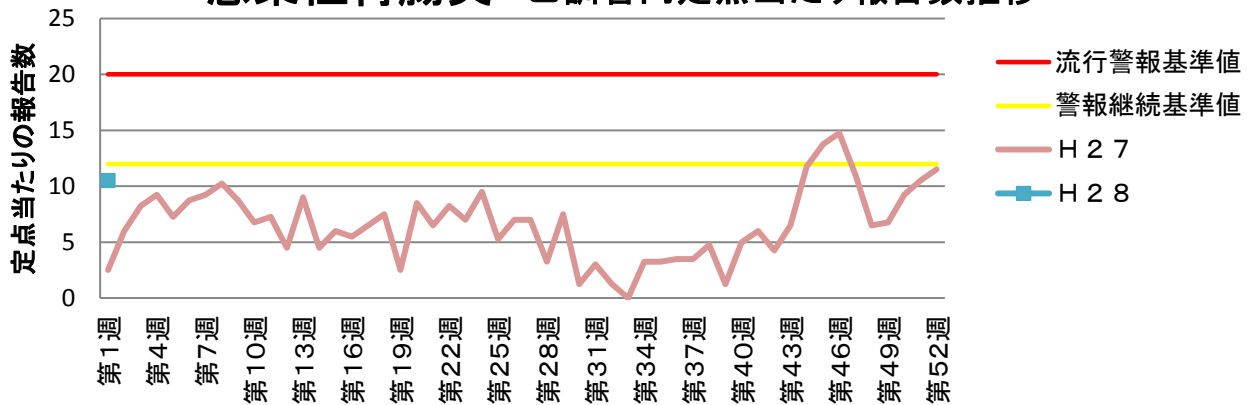
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



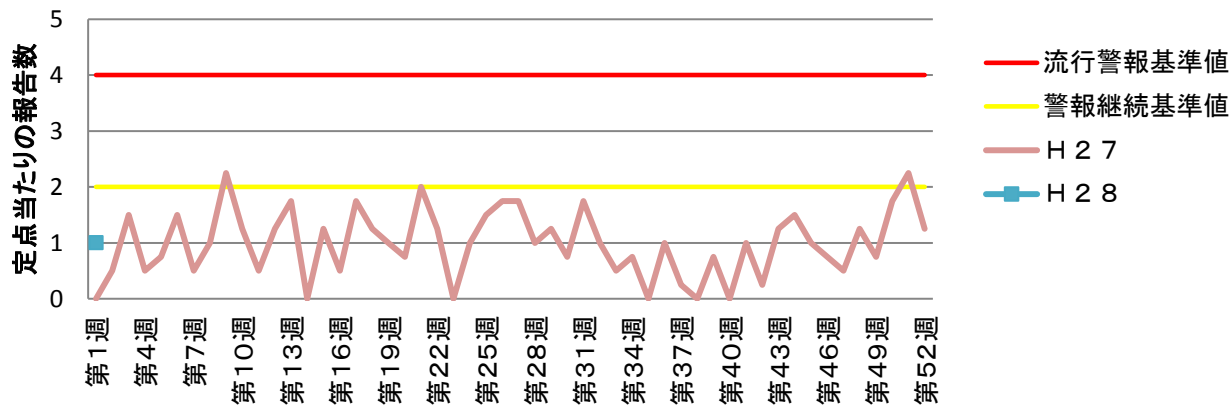
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



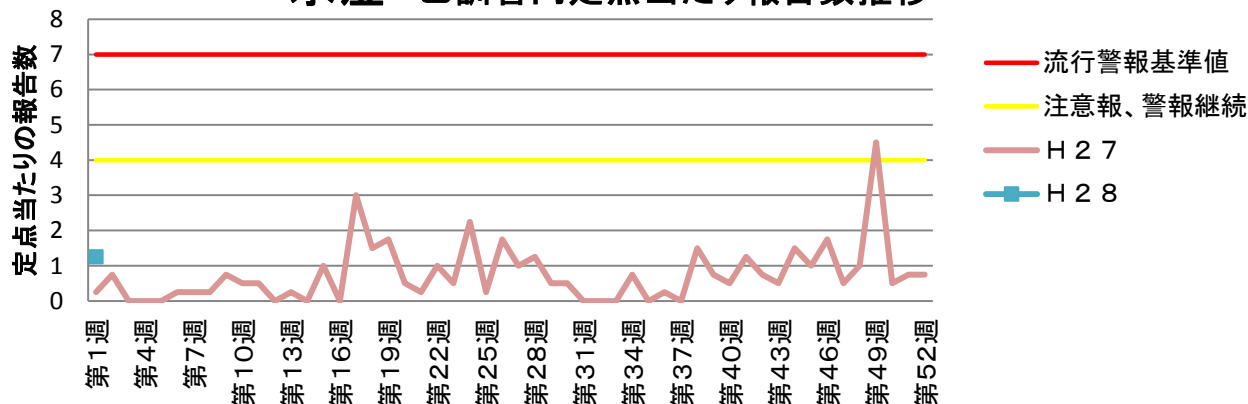
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



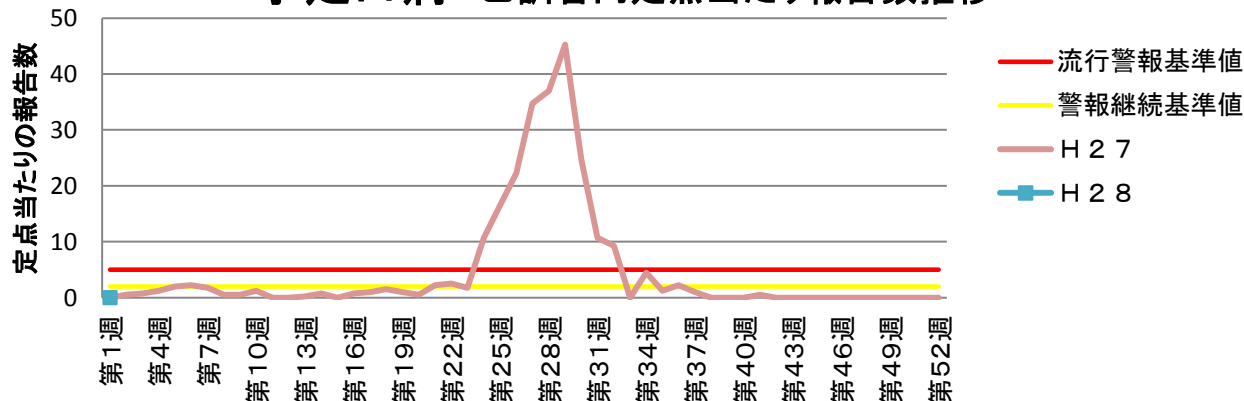
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



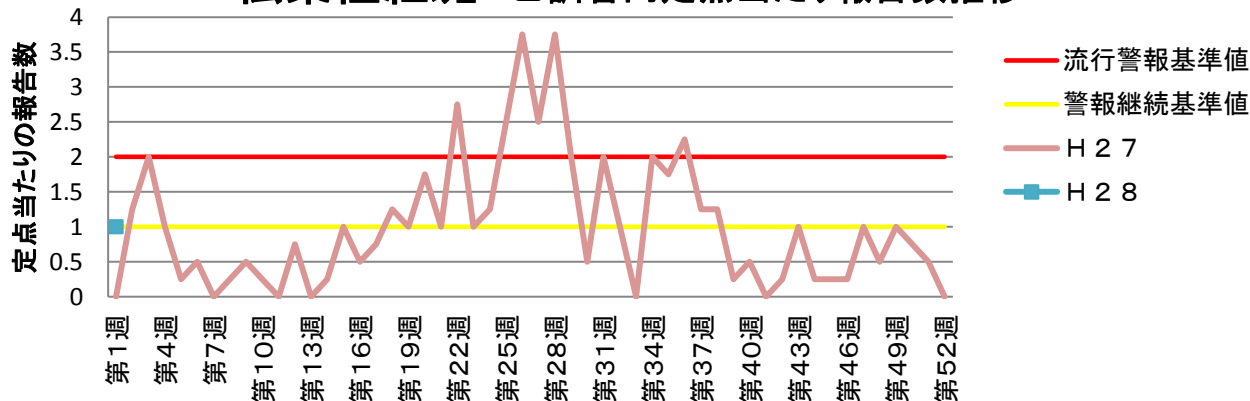
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



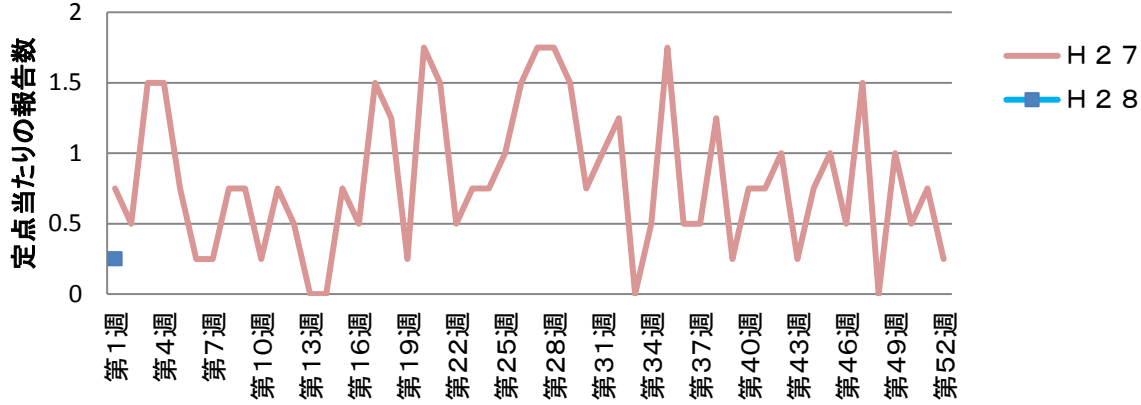
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



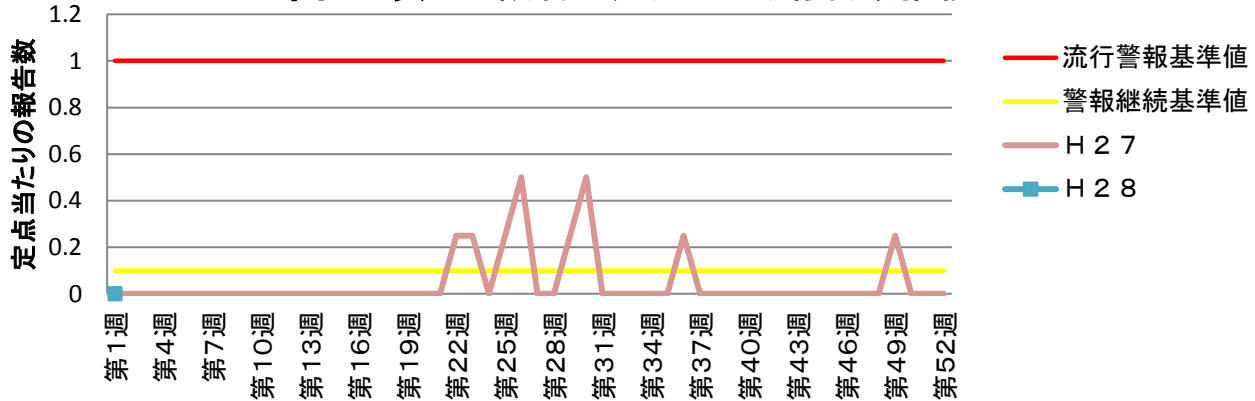
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



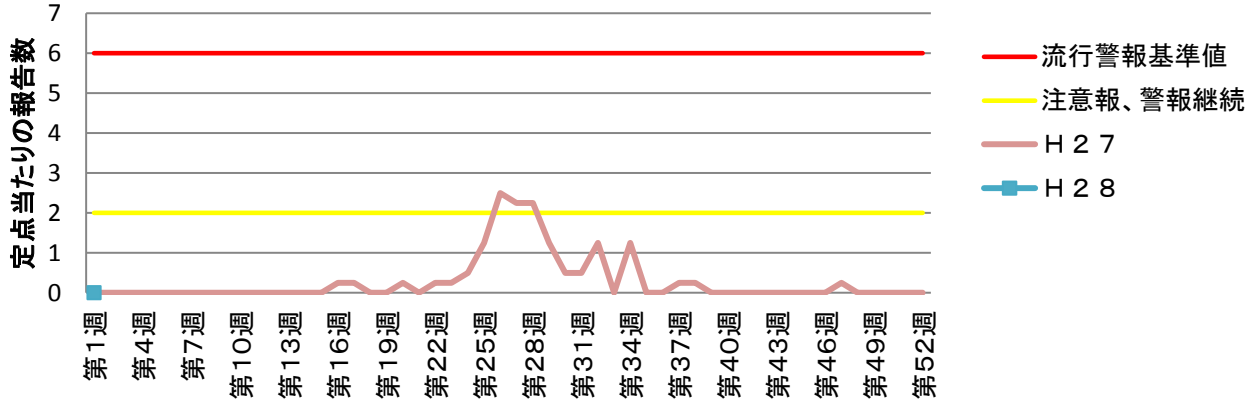
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

